



2019年11月13日(水) 京都工芸繊維大学

17:50~19:20 60周年記念館一階記念ホール

入場無料

『これからのデザインの役割』

齋藤 精一 氏

ライゾマティクス・アーキテクチャー主宰



SEIICHI SAITO

Profile

1975年神奈川生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2000年からNYで活動を開始。

その後ArnellGroupにてクリエイティブ職に携わり、2003年の越後妻有トリエンナーレでアーティストに選出されたのをきっかけに帰国。

その後フリーランスのクリエイターとして活躍後、2006年に株式会社ライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート・コマーシャルの領域で立体・インタラクティブの作品を多数作り続けている。

現在、2018-19年グッドデザイン賞審査委員
副委員長、ドバイ万博クリエイティブアドバイザー。

申込方法

- 参加費
- 申込締切
- 申込先

無料 ただし関連講義受講者以外の参加希望者は、事前申し込みが必要です。/ 定員 100 名
各講義前日まで

①お名前 ②連絡先（連絡のとれる電話番号） をご記入の上、
下記迄 e-mail にてお申込みください。

学務課 学務企画係 gakumu@jim.kit.ac.jp

※参加申し込みが定員に達し次第締め切らせていただきます。定員オーバーによるお断りの通知以外に、こちらから申し込み完了のご連絡はいたしませんので、ご了承ください。
※記載頂いた個人情報については、ご本人の同意なく、本来の目的以外で利用することはありません。また、個人情報を事前の告知なく他の機関・業者に提供することはありません。

■問合せ先：久保 雅義 e-mail: m-kubo@kit.jp